

**HITACHI**

Reliable Solutions

# 健康経営の取り組みについて

 日立建機ロジテック株式会社

当社は、「安全と健康を守ることを全てに優先させる」という基本理念のもと、従業員がいきいきと働くために、日立建機健康保険組合、産業医・保健師と連携し、健康保持・増進活動に努め、「安全・健康・快適で働きやすい職場づくり」を実行します。

また、日立建機グループの一員として、グローバルな事業活動と事業環境の変化のなかで、働く一人ひとりが毎日の仕事で働き甲斐を感じ、「身体的、精神的、社会的に満たされた状態」で幸福感を感じられる環境づくりが必要であるとの認識のもと、これからもウェルビーイングへの取り組みが社会貢献につながる活動であると位置づけ、「健康経営」への取り組みを推進し、企業の将来にわたる存在意義を示したいと考えています。

※健康経営はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

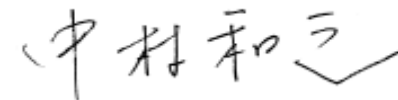
## 日立建機ロジテック「健康経営宣言」

日立建機ロジテックは、労働安全衛生に関する基本理念『安全と健康を守ることがを全てに優先させる』に基づき、従業員が安全に、心身ともに健康で働くことができる会社を目指し、健康経営を推進します。

1. 従業員のこころとからだの健康を実現する活動を実践します。
2. 従業員が社会と調和し十分に能力を発揮することを支援します。

2024年4月1日

取締役社長



## からだの健康（生活習慣）

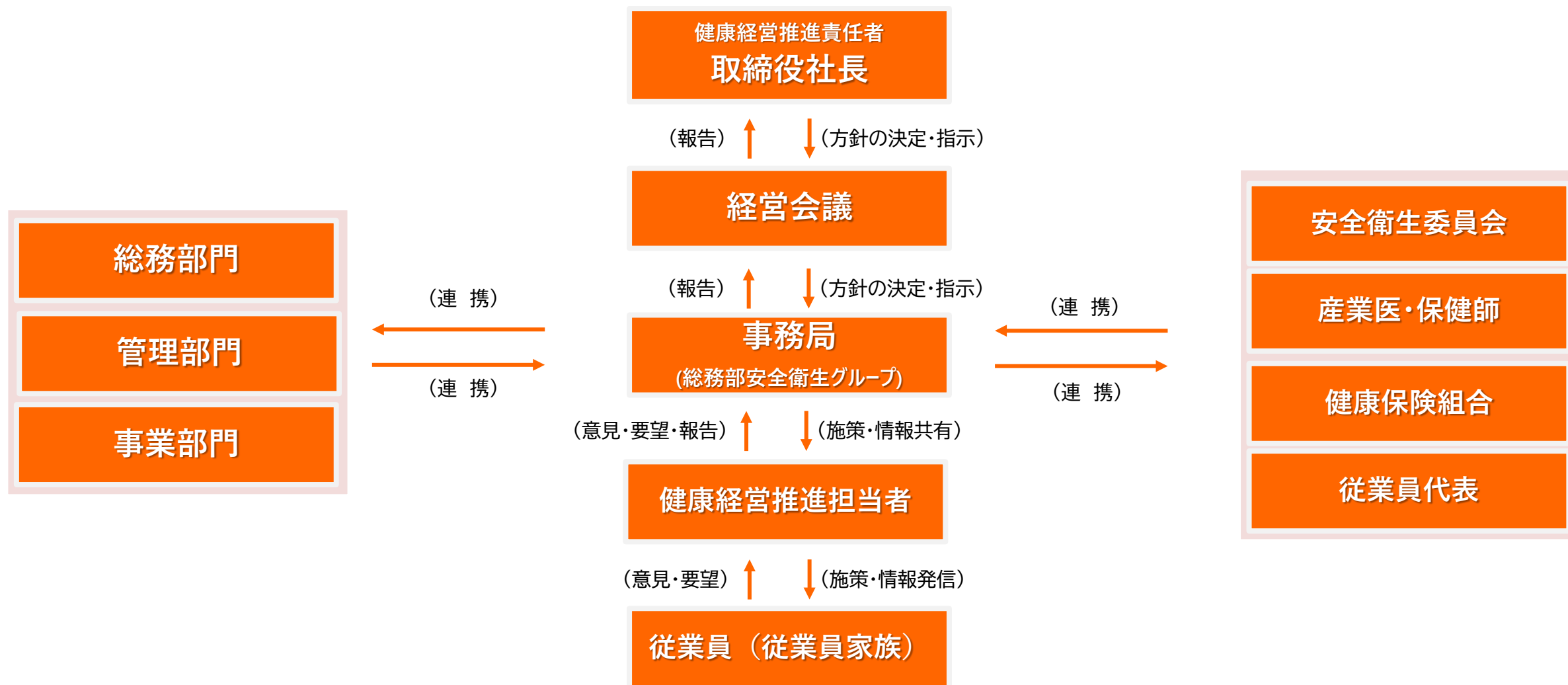
- 健診結果に基づく適切な行動
  - 特定保健指導の実施
  - 精密検査の受診
  - 禁煙・食事・運動・睡眠の改善

## こころの健康

- メンタルヘルス不調の未然防止
- メンタルヘルス不調者への就業支援
- ストレスマネジメント力の向上
  - セルフケア
  - ラインケア

## 働きやすい環境

- ワーク・ライフ・バランスの推進
  - 労働時間管理
  - 育児・介護等に対応した勤務形態利用推進
  - 年次有給休暇・リフレッシュ休暇等の取得推進
- コミュニケーションの促進
- 女性の健康支援
- 受動喫煙防止対策
- エイジフレンドリーの推進
- DXの推進、IT化、IoT活用による業務効率の向上

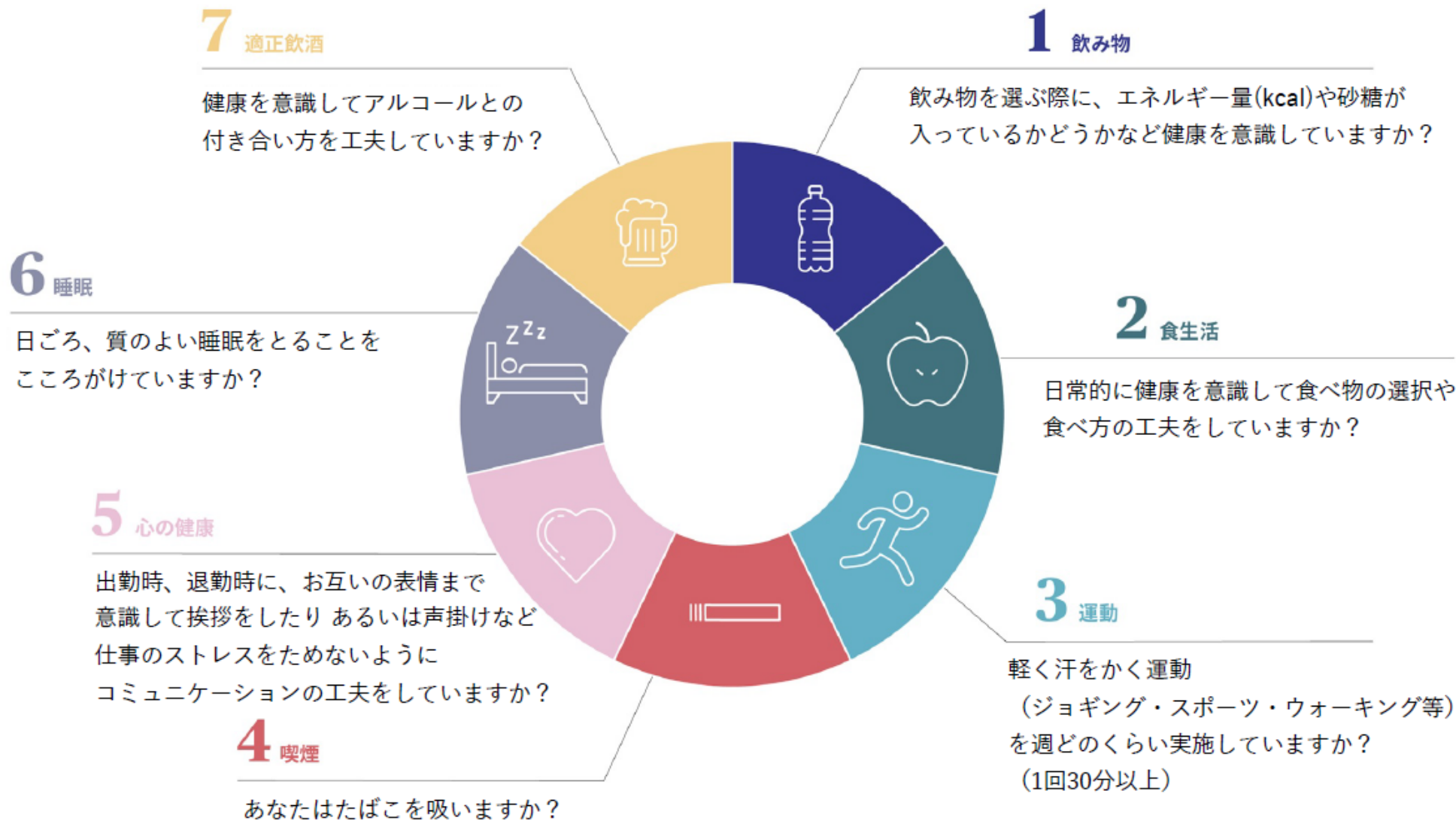


当社では2022年度から、生活習慣に関する傾向の見える化や健康意識を高めている要因・阻害している要因の把握等を目的として、全従業員を対象とした「健康習慣アンケート」を実施しています。調査結果から従業員の健康リスクを高、中、低の三群に分類し、高・中リスク群を引下げ、低リスク群を拡大することで、経営課題である「従業員の健康状態および健康に対する意識の改善・向上」「生活習慣や病気・ケガ、メンタルヘルス不調による生産性低下の防止」につなげていく方針です。

健康習慣アンケートは、生活習慣7項目(飲み物、食生活、運動、喫煙、心の健康、睡眠、適正飲酒)それぞれについて、「既に健康づくりを始めている」から「健康づくりを始める意思なし」といった行動傾向の意識について5段階に分けて調査しているものです。2024年度の調査結果を見ると、生活習慣7項目のうち、運動・喫煙・適正飲酒の3項目は無関心期に属する割合が徐々に改善しています。

社内の「健康づくり環境」に関する従業員の認識に関しては、7割強の人が「当社には健康づくりを目的とした情報提供や制度がある」と感じている一方で、「そのような機会や制度がない」と認識している人もいることがわかりました。当社が健康づくりのために取り組みを通じて健康になれると考えている人は、4割以下という結果でした。各種取り組み(健康投資)に対する意識や効果を確認しながら、引き続き従業員の健康改善・向上に取り組んでいきます。

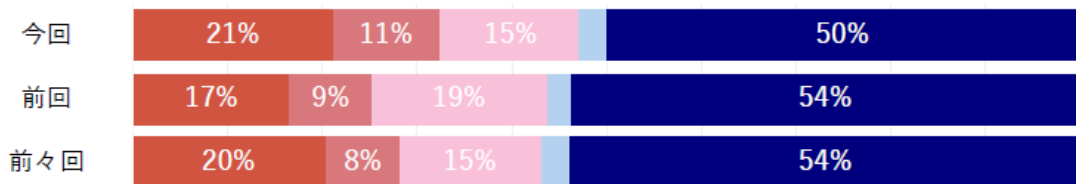
なお、毎年従業員に対する意識調査を実施していますが、エンゲージメント指標は5割程度で推移しており、健康経営の取り組みを通じて「安全・健康・快適で働きやすい職場」を構築し、エンゲージメント指標の向上にもつなげていきたいと考えています。



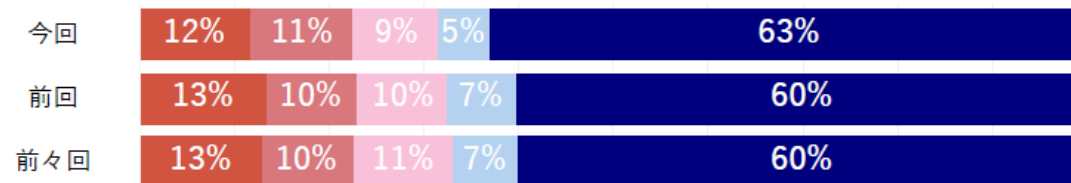
全体的に健康を意識して行動している方の割合は改善傾向にありますが、食生活に関する行動変容が鈍化しており今後課題です。

今回:2024年度、前回:2023年度、前々回:2022年度

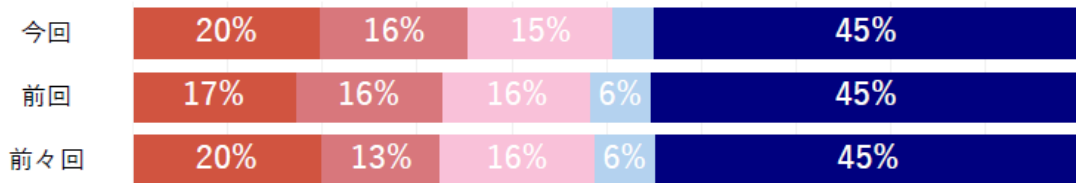
## 飲み物



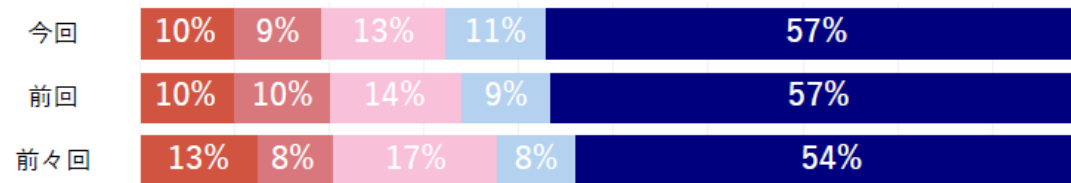
## 心の健康



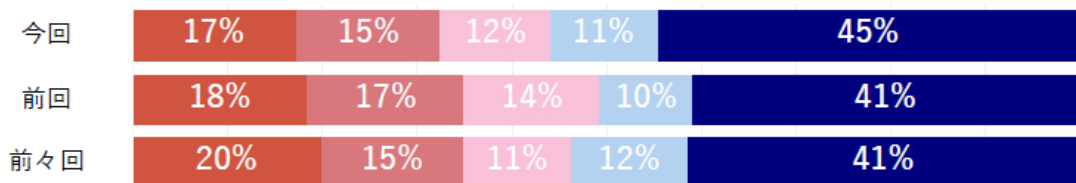
## 食べ物



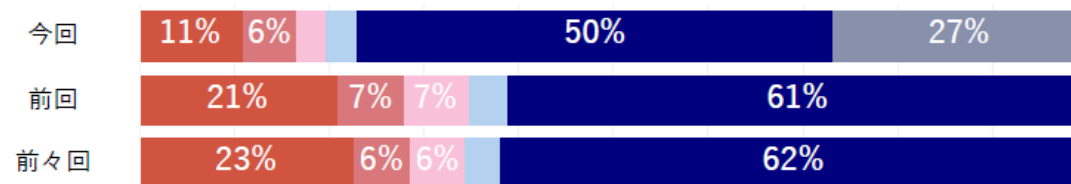
## 睡眠



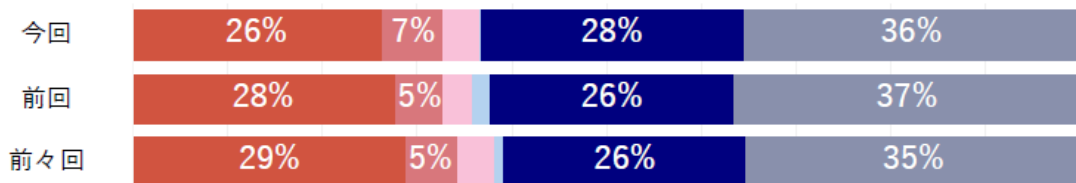
## 運動



## 適正飲酒



## 禁煙



無関心期	関心期	準備期	行動期	維持期
6ヵ月以内に健康づくりを始める意思なし	6ヵ月以内に健康づくりを始めたい	1ヵ月以内に健康づくりを始めたい	6ヵ月以内に健康づくりを始めている	6ヵ月以上前から健康づくりを始めている

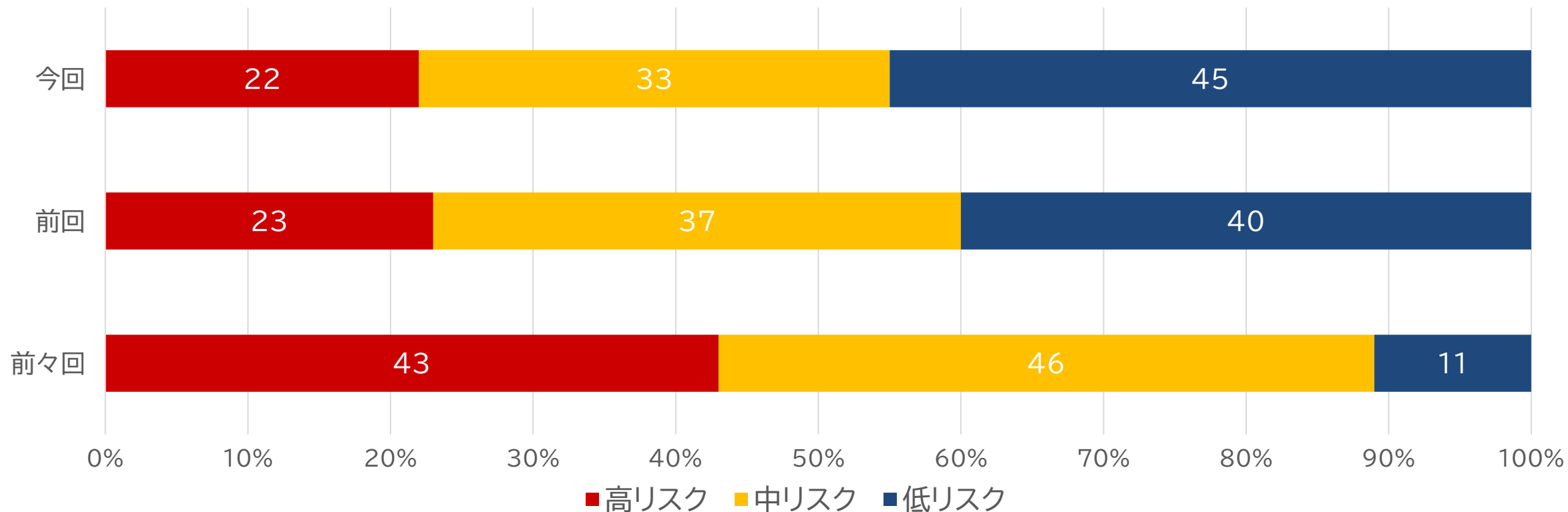
※「禁煙」「適正飲酒」の非該当は、グレーで表示。  
 禁煙の非該当は「吸ったことがない」を選択した回答社、  
 適正飲酒の非該当は「もともと飲まない(飲めない)」を選択した回答者

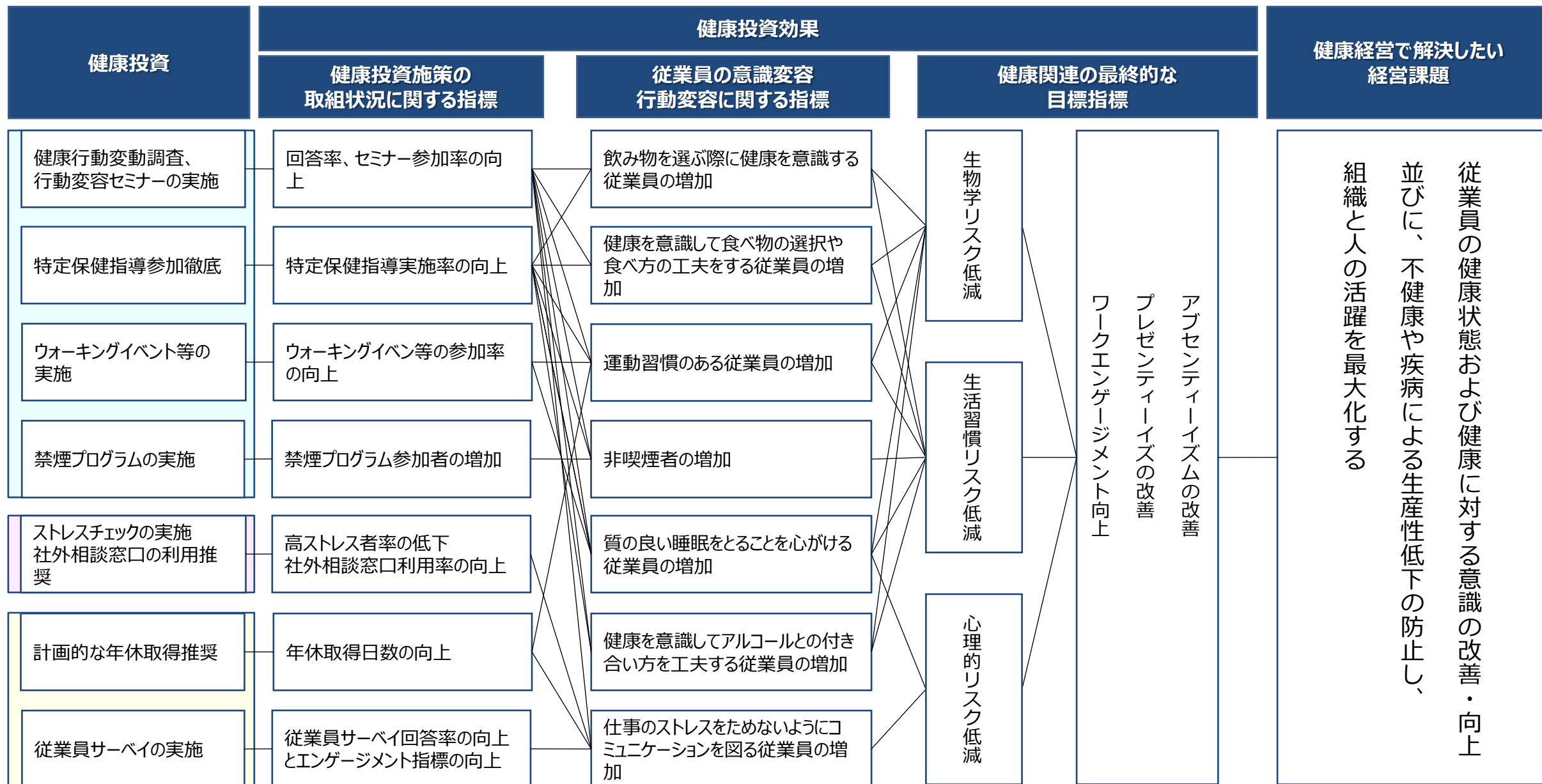


生活習慣に関する行動傾向をはじめとする各種設問を分析し、健康リスク評価分類をまとめていきます。  
2022年度から調査を開始しましたが、フィードバックセミナーなどを通して2023年度は大きく改善し、2024年度も改善傾向にあります。

各種健康投資を通じて、高リスク・中リスクを縮小させ、低リスク群の拡大を図っていきます。

今回:2024年度、前回:2023年度、前々回:2022年度





日立建機ロジテックの2023年度の労働災害発生件数は3件で、前年度比で▲1件の減少となりました。「労働災害ゼロ」は達成されておらず、これまで以上に危機的な状況であるという認識に立ち、災害の根本原因の究明と真に効果的な対策、およびその水平展開を確実に実施していくことが重要であると考えています。

近年発生した労働災害のうち腰痛災害は、2022年度 1件、2023年度 1件、2年連続で発生しており、腰痛防止対策を急務として捉えています。リスクアセスメントを実施し、15kg以上の手持ち作業の洗い出しを行いハイリスクのものから順次改善を図っています。また、重量物を取り扱うため重大災害につながるリスクを秘めており、体感訓練や危険予知トレーニングなど日々安全意識を高める活動を行っています。

労働安全衛生マネジメントシステムについては日立建機グループの方針に沿って活動を進めています。

## 《施策の取り組み・実績および目標》

項目	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 目標値	備考
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
適正体重維持者率	-	54.9%	57.7%	60%以上	
特定保健指導実施率	48.0%	49.3%	42.5%	55%以上	
ハイリスク対象者の割合	7.4%	11.0%	6.6%	-	
喫煙率	33.2%	34.3%	32.3%	28%以下	
ストレスチェック受検率	95.6%	99.8%	100.0%	100.0%	
高ストレス者率	17.2%	19.0%	18.8%	16%以下	
罹病率	0.53	1.17	0.64	0.5以下	
メンタルヘルス罹病率	0.41	0.90	0.53	0.5以下	
傷病による欠勤日数 (*1)	-	4日	4日	3日	
プレゼンティーズム (*2)	-	▲26	▲25	▲24	
時間外労働平均時間	13h	26h	21h	20h	
平均勤続年数	14.2年	12.5年	14.3年	-	
離職率	2.8%	3.4%	4.9%	-	

項目	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 目標値	備考
有給休暇取得率	96.0%	102.0%	64.9%	100.0%	17日/年以上
育児休暇取得者数 (男性)	-	1名	1名	1名	
ウォーキングイベント参加率	72.8%	85.5%	81.3%	70%以上	
ウォーキングイベント参加率	7.8%	33.7%	53.7%	70%以上	社内開催 参加率
女性健康課題施策への参加率	1.9%	28.4%	88.1%	70%以上	
女性健康課題施策の満足度	-	90.8%	85.3%	80%以上	
健康習慣アンケート測定人数	-	437名	503名	-	
健康習慣アンケート回答率	-	81.7%	90.8%	90.0%	
健康習慣アンケート満足度	-	77.7%	83.1%	80%以上	
従業員サーベイ測定人数	292名	295名	305名	-	
従業員サーベイ回答率	96.1%	99.0%	100.0%	100.0%	
エンゲージメント指標 (*3)	49.0%	53.6%	53.4%	60.0%	
ワークエンゲージメント指標 (*1)	-	2.4点	2.4点	2.5点	4点満点
労働災害件数	0件	4件	3件	0件	

\*1:健康習慣アンケートより \*2:SPQ(Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版) \*3:HCM Insights グローバル従業員サーベイ  
© Hitachi Kenki Logistics Technology Co., Ltd. 2024. All rights reserved.